

事業所名		KORINキッズ サポートクラブ 支援プログラム				作成日	2025	年	1	月	23	日
法人（事業所）理念	個性や特性を持つ児童ひとりひとりの成長と発達を支援します。 ①いつも明るく笑顔 ②目標を持ってチャレンジ③発達支援・療育を追及していく。 ④出来る事を増やしていく。											
支援方針	①いつも明るく、笑顔で接する。②気持ちよく、元気に挨拶する。③児童の安全を第一に心掛ける。④保護者や職員間のコミュニケーションを適切に行う。⑤ホスピタリティの精神を持つ。											
営業時間	平日	11時	0分	20時	0分	送迎実施の有無	あり					
	学校休業日	9時	0分	18時	0分							
支援内容												
本人支援	健康・生活	<ol style="list-style-type: none"> <li>毎日、来所時に検温・手洗い・うがい・アルコール消毒、外出時も帰社後は手洗い・うがい・アルコール消毒を実施し、一人一人の健康状態の把握と感染症予防に努めます。</li> <li>健康な体を育て、健全な生活出来るように支援を行います。意思表示が難しい子どもの障害の特性やアセスメント時にヒヤリングした特性や状態を考慮し、小さなサインから心身の異変に気づけるよう、細やかな観察を行います。</li> <li>健康の増進 睡眠、食事、排泄など基本的な生活のリズムを身に付けられるよう支援します。さらに、防衛体力を向上させ、病気の予防や安全にも配慮していきます。</li> <li>日常生活や社会生活を充実させるため、発達過程の子どもの適した身体的、精神的、社会的な訓練を行います。</li> <li>基本的な生活スキルの獲得 清潔な身の回りや食事、衣類の着脱、排泄などの基本的な生活技能を獲得できるよう支援します。</li> <li>様々な遊びや運動を通して学習できる様、生活環境を整えます。また、障害の特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすく、見通しを持って取り組める工夫をしていきます。</li> </ol>										
	運動・感覚	<ol style="list-style-type: none"> <li>様々な活動内容を用いて粗大運動から微細運動に繋げていけるよう、支援できる環境を整えていきます。同時に気持ちの発散が十分出来るようにもしています。</li> <li>学校休業日には、他ではなかなか出来ない外出イベントを毎月プログラムし、筋力の維持・強化を図ると共に自己肯定感の向上にも努めていきます。</li> <li>統合遊びでは、必要な全身の感覚を養い、集団遊びでは学校・園での集団生活が出来るようにプログラムしています。</li> <li>体軸が整う。運動や遊びを通して真ん中というものが分かるようになり、自ら姿勢が整えられるように支援していきます。</li> <li>バランス能力の向上。遊びや運動を通して、重心移動を覚え、こげにくい体を作り、怪我の予防を行います。</li> <li>目の機能の向上。見たいものを見ることが出来る、狙った所にボールを投げられる等、目のピント調節機能を向上させ、運動だけでなく、学習にも繋がられる様にしていきます。</li> <li>左右の体の使い方を覚える。正中線交差がスムーズに出来るようになり、左右違った動きが出来るようになっていきます。（体側運動が出来る。）</li> <li>運動能力の向上。活動量をしっかり確保し、時間一杯動き切ることによって体力の向上に繋がっていきます。</li> <li>感覚統合。五感・前提感覚・固有感覚といった、まだ使いきれしていない感覚を遊びを通して使うことで感覚統合に繋がっていきます。</li> </ol>										
	認知・行動	<ol style="list-style-type: none"> <li>開始時に当日の日付・曜日・スケジュールを視覚で分かるように表示・説明し、自ら行動出来るように見通しを立てていきます。</li> <li>タイムタイマーを用いて、活動の切りかえを視覚と聴覚にて促します。また、片付けがしっかり出来るようにしていきます。</li> <li>色んな準備が出来るように支援していきます。気持ちの準備・荷物の準備・時間内に完結といったことが自分で出来るようにし、忘れ物 が無くなるように支援します。</li> <li>組織化能力の向上を狙います。年齢にあった様々な片付けを学びます。使用済み・使用前の荷物が分けられるようになる。使うものを手前に置き、使わなくなったものを奥にしまえるようにしていきます。小学生以上はランドセルの中身の整理が出来るようになっていきます。遊んだものの後片付けを学びます。例えば自分が使っていないモノであっても皆で片付けられるように取り組んでいきます。</li> <li>認知の特性を踏まえ、個々の特性に合った支援を行います。また、こだわりなどにも対応していきます。</li> <li>感覚や認知の特性から生じる行動障害の予防や適切な対応を支援します。</li> </ol>										
	言語 コミュニケーション	<ol style="list-style-type: none"> <li>挨拶や会話など円滑なコミュニケーションを行う事ができるよう支援します。</li> <li>具体的な事物や経験と言葉の意味を結び付け、体系的な言語の習得や自発的な発声を促進します。</li> <li>集団行動の中でのコミュニケーションを育んでいきます。言葉で相手に伝える努力し、相互コミュニケーションを覚えていきます。相手の気持ちも理解できるよう努めていきます。</li> <li>会話や伝え方の方法を支援します。端的に伝える練習を行います。（結論から話せるようにしていきます。）</li> <li>読み書き能力の向上のための支援を行います。障害の特性に合わせた読み書き能力の向上を支援します。目のピント調節機能を向上させ、マスの中に字が納まるようになっていきます。また、行を飛ばしたりせずに音読が出来るようになっていきます。</li> </ol>										
	人間関係・社会性	<ol style="list-style-type: none"> <li>統合遊び・集団遊び・外遊びといった活動を通し、自己理解・他者理解を養います。</li> <li>人との関係を築き、信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行います。</li> <li>遊びを通じて模倣行動を促し、ルール理解や社会性・対人関係の発達を支援します。</li> <li>発達のピラミッドに応じた支援を行います。感覚を使った遊びから体側運動が出来るようになることで、社会性やコミュニケーションの発達も支援していきます。</li> <li>それぞれの場面に応じた遊び・運動を支援。一人遊び・集団遊び等、場面に応じた社会性の発達を支援します。</li> <li>集団行動を行うことで、自己の行動や感情をコントロールできるよう支援します。</li> <li>様々な外出イベントに参加することで、施設内のメンバーだけでなく、初対面の人達とも交流が生まれ、社会のルールやマナーに関する知識を養います。</li> </ol>										
家族支援	子供達の出来るが増えることにより、ご家族の負担軽減。 施設利用時間は母子分離となり、レスパイトケア的な役割も果たす。また、学校等の終了から利用することで、共働き家庭への不安軽減となる。				移行支援		未就学児に対する地域の小学校への進学支援。 小学生から中学生に進学する際には、クラブ活動へのシフト等も考え、デイサービス卒業に向けた支援を行う。					
地域支援・地域連携	デイサービスでの様々な経験から自ら地域の行事等に向かうことが出来る事を目標とし、自立した行動を促すことで余暇の充実を図ります。				職員の質の向上		入社時の導入研修。毎日の支援前後の振り返りや打ち合わせや定期的なミーティング。各種法定研修。強度行動障害基礎・実践研修、サービス管理責任者研修・児発管研修等の外部研修。					
主な行事等	プールレッスン・施設内の大会（球技大会・陸上大会・ポッチャ大会・モルック大会・駅伝・フットサル等）・春夏年2回の合宿・公園外遊び（アスレチック等）・館内施設遊び（制作等もあり）・夏祭り・クリスマス会等々											